

第 22 回多手山プロジェクトの実施結果について

1 趣 旨

本プロジェクトは、町内有志の方々の参加のもと、富山地方鉄道立山線を利用して町内を訪れる観光客等に対し手を振ることで、笑顔と元気でおもてなしを行うもの。通算 22 回目を数える今春は、昨年度に引き続き約 1 週間にわたり開催した。

2 実施概要

- (1) 開催期間 令和 7 年 4 月 15 日から 4 月 18 日まで（前年度比△ 1 日）
- (2) 場 所 富山地方鉄道立山線沿線
- (3) テーマ ぬくもりに ふれてみるハル 2025

3 実施結果

- (1) 参加者数 延べ 1,102 人（前年度比+262 人）
- (2) 参加団体
[小学校] 立山北部小学校、立山中央小学校、釜ヶ淵小学校
[保育所等] 下段保育所、岩嶺保育所、かがやき保育園、むつみ幼稚園
[各種団体] 「釜ヶ淵驛」をよくする会、釜ヶ淵地区社会福祉協議会、アルプス農業協同組合たてやま支店、立山製紙(株)、立山舟橋商工会青年部、(有)福来老、(一社)立山町観光協会、立山りんどう会、(福)立山町社会福祉協議会、立山町商業協同組合、浦田寿会、(一社)立山子育て支援センター、富山地方鉄道(株)、立山町役場

(3) 当日の様子



広報たてやま5月号への公共交通特集記事の掲載について

1 趣 旨

日常利用の有無を問わず、幅広い住民の公共交通への関心を高めることを目的に、立山町の全戸に配布される町広報紙に公共交通特集記事を掲載するもの。

2 実施概要

- (1) 掲載号 広報たてやま令和7年5月号
- (2) 特集タイトル 乗れば、出会える。つながる、まちの公共交通
- (3) 掲載内容
 - ・ 町の交通モード（地铁電車、地铁バス、町営バス、タクシー）の紹介
 - ・ 公共交通のメリットの紹介
 - ・ 町の現状、取組等の紹介
 - ・ 有識者へのインタビュー（立山町公共交通活性化協議会会長 高橋 愛典氏）
 - ・ 利用者へのインタビュー
 - ・ 交通事業者へのインタビュー（富山地方鉄道㈱、タクシー事業者等）
- (4) 配布物 以下の写真のとおり



- (5) 配布数 9,340 戸（町内の全世帯）

3 その他

同号には、多手山プロジェクトの結果報告記事及び立山駅 70 周年記念プロジェクトへの協力依頼記事も掲載

立山駅開業 70 周年記念プロジェクトについて

1 概要

富山地方鉄道立山線の終着駅かつ立山黒部アルペンルートの玄関口である立山駅が本年 7 月 1 日をもって開業から 70 周年の節目を迎えるに当たり、その歴史を振り返るとともに、重要な観光拠点としての当駅が未来へつながる希望あふれる場所であり続けることを願うプロジェクトとして、クラウドファンディングにて調達した資金を原資に、各種イベントを行うもの。

2 実施内容

(1) 記念ブースの設置

- ・ 山の日にあわせ、「たてやまの魅力・地鉄の魅力」を紹介する記念ブースを出展するもの。

[日 時] 令和 7 年 8 月 11 日 (月・祝)

[場 所] 立山町観光協会立山駅前観光案内所

(2) 記念動画「(仮) 立山駅 70 年の歩み」の特別上映

- ・ 立山駅の「記憶」を多くの方に共有するため、立山駅の歴史や立山線沿線の風景、電車の写真、富山地方鉄道(株)、立山黒部貫光(株)、地域住民等の所有する貴重な資料を集めた特別映像を上映するもの。

[日 時] 令和 7 年 7 月 1 日から 8 月 11 日まで

[場 所] 立山町観光協会立山駅前観光案内所

(3) 記念ポスターの製作

- ・ 立山駅 70 周年を記念した特製ポスターを作製し、立山駅及びその周辺施設、富山地方鉄道立山線の各駅舎等に掲示するもの。

(4) イベント「地鉄で GO! 夏の大冒険!!」の開催

- ・ 立山駅 70 周年の節目を祝うとともに、公共交通の利用意識の醸成やその重要性の理解促進につなげるため、未来を担う子供たちとその保護者を対象に、ワークショップや記念貸切列車等への乗車等を行うもの。

[日 時] 令和 7 年 8 月 11 日 (月・祝)

3 その他

8 月 11 日には、立山駅前で千寿ヶ原自治会等による「千寿ヶ原フェス」が同時開催される。

富山地方鉄道バス立山町役場前停留所の待合ベンチの更新について

1 概要

富山地方鉄道バス立山町役場前停留所の待合ベンチは、下校時の立山中央小学校の児童を中心に、町内外の多数の方々に利用されている。

このたび、経年劣化が進行していた当該ベンチが、町内事業者の厚意により更新されたもの。

2 更新日

令和7年5月12日

3 設置者

日本安全施設株式会社 代表取締役 古川 真司 様
(富山県中新川郡立山町半屋 185 番地)

4 調整状況

設置者により以下の関係機関と調整済み

- (1) 富山県富山土木センター立山土木事務所
- (2) 富山地方鉄道株式会社

5 現地写真



富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 第 1 回立山線・不二越上滝線分科会について

1 概要

本分科会は、富山地方鉄道鉄道線を将来にわたり持続可能な路線としていくための維持・活性化の方策等について検討することを目的に設置された富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会の分科会として、立山線及び不二越上滝線を対象に組織されたもの。第 1 回となる今回は、不二越上滝線及び立山線の検討状況、鉄道事業運営のモデル試算等が共有され、これらを基に意見交換がなされた。

2 開催日時

令和 7 年 6 月 5 日 15 時 00 分から 15 時 40 分まで

3 出席者

富山県知事	新田 八朗
富山市長	藤井 裕久
立山町長	舟橋 貴之
富山地方鉄道株式会社	
代表取締役社長	中田 邦彦

4 主な意見

- ・ 再構築事業を行う場合、利便性向上に資する事業を盛り込む必要があり、これに要する費用負担が大きくなる見込みである。これを踏まえ、全体事業費やその調達方法にも留意し、取り組む必要がある。
- ・ 立山線は、不二越上滝線とは異なり、観光の視点も必要な路線であるため、富山県全体としても重要な路線と認識している。みなし上下分離にこだわらず、広い視野で検討することが必要。
- ・ 運賃改定の影響により、令和 7 年度は収支改善が見込まれているものの、赤字となる見通し。こうした状況も踏まえ、議論を進めてほしい。
- ・ 令和 8 年度も何らかの支援が必要である中で、これを単なる欠損補助ではなく、まちづくり等への投資としたい。これらの検討は、スピード感をもちつつも丁寧に進めていきたい。
- ・ 次回からは、観光面からも意見を聴取するため、立山黒部貫光株式会社に出席を打診